

飯田IC外プラ駐車場改良工の作業手順

制定・改定日 2021.10.8

	内 容	留 意 事 項
準備工	作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検・確認 使用機械、資材、工具の点検 現地状況及び埋設ケーブル等の確認	指示書の内容確認。 KY活動・手順書確認 作業別安全チェックシートの活用。 埋設ケーブル等に注意喚起の明示を行い、現地状況の最終確認を実施する。
路床工	地山の掘削はバックホウ(0.45級)にて行う。 丁張を設置し、所定の位置、延長、勾配などを確認しながら床掘りを行う。 床付けは再生砕石を平坦になるように床均しを行い、転圧機にて転圧する。	バックホウの作業前点検の実施及び作業計画書の周知。 作業半径内立入禁止。 有資格者による、機械作業を行う。
路盤工	砕石(RC-40)をt=20cmにて敷きならす。 コンバインドローラーを用いて締固めを行う。 縁石を設置する。	有資格者による、機械作業を行う。 作業半径内立入禁止。 足詰め等に十分注意する。
排水工	既設排水溝との高さを合わせ集水樹(二次製品)を設置する。 設置後、排水溝・集水樹の目地にモルタルを詰め漏水防止を行う。 樹底部には、インパート打設を行う。	集水樹設置時に指を挟まないよう注意をする。 吊り荷作業を行う時は、必ず玉掛の資格を有している人が作業を行う。
縁石工	基礎砕石は、計画の位置・高さ・幅・厚さを確認し敷均し・転圧を行う。 BH・人力にて砕石を敷均し、プレートコンパクターにて転圧を行う。 車止ブロックは、丁張の位置・高さを合わせ設置する。 設置後、車止ブロックの目地にモルタル詰めを行う。	バックホウの作業前点検の実施及び作業計画書の周知。 作業半径内立入禁止。 吊り荷作業を行う時は、必ず玉掛の資格を有している人が作業を行う。
舗装工	ダンプトラックにて運搬したアスファルト合材をアスファルトフィニッシャーにて敷き均す。 所定の基層、表層厚にて施工を行う。 舗設温度にも注意する。	有資格者による、機械作業を行う。 作業半径内立入禁止。 工場発送時の温度から-20℃以下の物は使用しない。 トラックの誘導時は、誘導員を配置し周囲に十分注意をする。
フェンス工	基礎鋼管杭を設置する。(2m間隔) 設置済みの基礎鋼管杭の中にモルタルを詰め、その中に支柱を設置する。 支柱の固定を確認した後、金網を支柱に取り付ける。 専用Uボルトとナットにて、支柱に取り付けした後、上下金網の連結を行う。	支柱の垂直立て込み確認。 金網取付が終了しない区間は、仮設物にて立入防止対策を講じる。
路面標示工	箒、ブロワー等で路面を清掃する 既設の駐車枠を除去する。 手押し施工機にて駐車枠を引く。 塗料が乾くまで養生をする。	路面の十分な乾燥確認。 天候の急変に注意。
後片付け	使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうき等で清掃する。	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 積荷の飛散防止処置の実施。 塗料の硬化・乾燥を確認する。

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談すること。

注意事項

作業に合った保護具を使用する。
各作業は、有資格者による作業を行う事。
積荷の過積載禁止。
火災防止処置を行う事。(消火器の設置)
旋回範囲内への立ち入り禁止措置を行う。
バックホウの作業前点検の実施及び作業計画書の周知。
一人作業禁止。

作業編成(標準)	人数	資機材
作業責任者	1名	バックホウ・ダンプ・ユニック・振動ローラー
現場誘導員	1名	コンバインドローラー・発電機・電エドラム
作業員	6名	ハンマードリル・コンプレッサー・コア抜き機
		角スコップ・竹ぼうき・ハンドブレーカー
		レベル・リボンロッド・スタッフ
		コンバインドローラー・手押し路面標示機

安全器具・保護具確認

ヘルメット・反射(自発光)チョッキ・安全靴
警笛
保護手袋・防塵マスク・保護メガネ・耳栓